

鹿児島大学森林科学コース 論文発表会のご案内

本学の森林科学コースには日頃のご協力に感謝申し上げます。

2月13日に修士論文、2月14日に卒業論文発表会を行います。発表会は学外者にも公開で実施しております。例年、関係機関の皆様にも多くご参加いただいております。

お時間が許しましたら、学生にコメント等をいただけますと幸いに存じます。

事前連絡等は不要です。ご都合に合わせてお越しください。

関係者、部署内でご回覧いただけますと幸いに存じます。

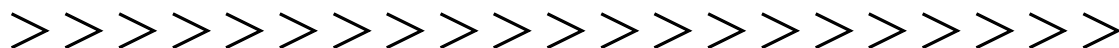
よろしく願いいたします。

森林科学コース教務委員 奥山洋一郎

鹿児島大学農学部

099-285-8578

okuyama@agri.kagoshima-u.ac.jp



平成 29 年度

鹿児島大学大学院農学研究科生物環境学専攻

森林管理学講座・地域資源環境学講座 修士論文発表会

日時：平成 30 年 2 月 13 日（火）13:00～

会場：農学部 203 教室（農学部共通棟 2 階）

【森林管理学講座】 13 時 10 分～

米森 正悟 航空機 LiDAR データを用いた森林簿の地位の再評価

奥田 絢子 鹿児島県のサザンカにおける輪紋葉枯病の被害発生パターン

【地域資源環境学講座】 14 時 00 分～

早川 浩史 九州地域における木質バイオマス発電の現状と課題

石川 慎三郎 針葉樹材と広葉樹材から放散されるアルデヒド類に関する研究

徳留 正明 モウソウチク科における植物ケイ酸体の分布

発表形式：口頭発表（発表 15 分＋質疑討論 10 分の計 25 分）

平成 29 年度

鹿児島大学農学部生物環境学科

森林科学コース 卒業論文発表会

日時：平成 30 年 2 月 14 日（火）

会場：農学部 101 講義室（農学部共通棟 1 階）

発表形式：ポスター発表

コアタイム（A）： 9:30～11:00

コアタイム（B）： 11:00～12:30

コアタイム（C）： 13:30～15:00

| 論文番号 | 氏名 | 研究室 | 卒論題目 | コアタイム |
|------|--------|----------|--|-------|
| 1 | 井上 桂佑 | 木質資源利用学 | ホワイトオーク材とバーチ材の衝撃曲げ吸収エネルギー | A |
| 2 | 井上 晴香 | 育林学 | 常緑広葉樹と落葉広葉樹における落葉・展葉のタイミングと細根の発生活消長の関係ーアカガシ・コナラを用いてー | A |
| 3 | 上野 達也 | 森林政策学 | 農業高校における評価・満足度とこれからの課題 | A |
| 4 | 上村 優介 | 木質資源利用学 | スギ材の平均年輪幅と動的ヤング係数の関係 | A |
| 5 | 緒方 公美 | 育林学(演習林) | オルタナティブスクールの卒業生へのライフストーリー研究 ～森の学校楠学園での経験が人生に与える影響についての考察～ | C |
| 6 | 柿田 浩希 | 森林政策学 | 鹿児島大学附属演習林における森林認証の取得について | B |
| 7 | 梯 達郎 | 森林保護学 | 鹿児島県八重山の常緑広葉樹林におけるシカの剥皮と角こすりの樹種選択性 | A |
| 8 | 川越 桃子 | 森林保護学 | 高隈演習林における植栽1年目のヒノキへのノウサギによる被害 | B |
| 9 | 川野 慎子 | 砂防・森林水文学 | 霧島火山における噴火防災対策について | B |
| 10 | 川本 創太郎 | 育林学 | 暖温帯と亜熱帯の常緑広葉樹林における外生菌根菌による窒素の同位体分別 | B |
| 11 | 小嶋 恵実 | 木質資源利用学 | スギラミナ乾燥時に発生する栈木の痕の視覚特性 | B |
| 12 | 木場 彬仁 | 砂防・森林水文学 | 始良カルデラ西壁における渓流水・湧水を活用した崩壊予測 | C |
| 13 | 小柳 希央 | 森林政策学 | 木材販売方式に伴う収支構成の変化ー鹿児島大学農学部附属演習林の事例から | B |
| 14 | 澤口 朋弥 | 木質資源利用学 | 新国立競技場建設における木材の使用と問題点 | C |
| 15 | 嶋本 賢太郎 | 森林計画学 | 森林内における周波数帯別の電波伝搬損失特性 | C |
| 16 | 生野 柁大 | 育林学 | スギクローンにおける低密度植栽での未成熟材の量的変化およびそれが木材利用に与える影響 | C |
| 17 | 角之上 真由 | 砂防・森林水文学 | 始良カルデラ東壁における地下水型崩壊の予測 | A |
| 18 | 平 千万 | 森林計画学 | 小型UAVとSfMIによる樹高測定に對地高度の違いが与える影響 | A |
| 19 | 政 奈央 | 森林政策学 | 森林経営計画における属人計画の実態把握 | C |
| 20 | 徳田 里紗子 | 育林学 | 成長期間と樹冠特性がスギクローンの初期成長に与える影響 | C |
| 21 | 永井 純一 | 育林学 | コウヨウザンにおける生材含水率と容積密度の個体内、地域間及び系統間の変異について | A |
| 22 | 中島 万穂 | 森林保護学 | 桜島の溶岩台地上に生息するホンダヌキの食性とため糞場の利用 | C |
| 23 | 西村 富美佳 | 砂防・森林水文学 | 肥薩火山域における湧水センサーによる深層崩壊の警戒対応 | B |

| 論文 番号 | 氏名 | 研究室 | 卒論題目 | コア タイム |
|----------|-------|----------|--|-----------|
| 24 | 花房 香織 | 森林保護学 | 森林性野ネズミの採餌戦略とそれに影響を及ぼす環境要因 | A |
| 25 | 林 結実 | 育林学 | 徳之島常緑広葉樹林におけるオキナワウラジロガシとスダジイの個体群動態および樹高成長の特性 | B |
| 26 | 林田 真実 | 森林計画学 | 下刈り回数異なるスギ幼齢林内の侵入広葉樹の特徴 | A |
| 27 | 早瀬 愛奈 | 森林保護学 | サザンカ輪紋葉枯病とアラカン紫かび病における被害発生状況とそれらに影響する要因 | B |
| 28 | 姫野 隼一 | 森林計画学 | 単線循環式集材を用いた整備竹林での竹材搬出作業の生産性 | B |
| 29 | 福島 純平 | 砂防・森林水文学 | 2017年九州北部豪雨による土砂移動現象の特徴 | C |
| 30 | 福元 啓介 | 砂防・森林水文学 | 鹿児島県本土における降水量の分布と経年変化 | B |
| 31 | 古田 敦士 | 木質資源利用学 | 木材の木口面の反発係数と密度の関係 | C |
| 32 | 松本 航大 | 森林政策学 | タケノコ生産における担い手確保の課題 | A |
| 33 | 三代 樹奈 | 森林保護学 | サザンカにおける輪紋葉枯病の発病及び病斑形成に影響を及ぼす要因の接種試験による検討 | C |
| 34 | 宮本 祐成 | 砂防・森林水文学 | 阿蘇地域における渓流水・湧水を活用した崩壊予測 | A |
| 35 | 森脇 里奈 | 木質資源利用学 | 木材および木質製品の価格変動分析 | B |
| 36 | 吉松 大輝 | 森林計画学 | 二時期の航空LiDARデータを用いた間伐地と皆伐地の差分解析 | C |

ポスター掲示位置

